



地震対策マニュアル

(透析患者様用)



☆半田東クリニック災害対策委員会☆

《1》はじめに

①東海地震とは…

静岡県西部・駿河湾一帯の地域を震源とするプレート型地震で、**マグニチュード8クラスの巨大地震**とされています。知多半島では震度5強（一部6弱）、津波の高さ0～2mと予測されています。

また、**東南海地震**は静岡県西部沖から紀伊半島沖にかけての太平洋沖合いを震源とした東海地震と同じプレート型地震で**マグニチュード8.5クラス**、知多半島では震度6強、津波の高さ0～3mと予測され、東海地震以上の巨大地震でもあります。ただ、**近い将来必ず起こると言われているのが東海地震であり、予測可能な地震とも言われています。**

② 招集会及び警戒宣言とは…

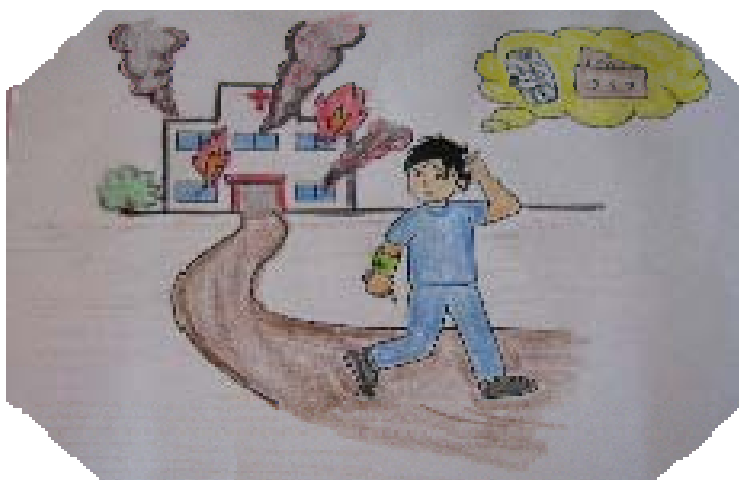
東海地震の場合は地震観測データに異常が現われた時、それが大地震に結びつくかどうかを判断するために地震の専門家が招集され「**地震予知判定会**」が開かれます。これにより大地震の前兆と判断された時には「**警戒宣言**」が発令されます。しかし、警戒宣言と言ってもそれは**数時間から2～3日以内に地震が発生する恐れがある**というものです。



《2》 対応方法

① 常時

- ・地震発生時には布団や毛布を頭からかぶるため夏場などの使わない時でも布団、毛布は常に手の届く位置に置いておいて下さい。
- ・緊急避難時は荷物を置いて行く事となるため、貴重品はなるべく病院へ持って来ないようにして下さい。又、どうしても必要なときは、常に携帯していることをお勧めします。



② 警戒宣言発令時

- ・最初にもありましたが発令後2～3日以内に地震が起こるという事は、逆に考えれば2～3日位地震が起こらない可能性もあるため、本来なら発令後は透析治療を控えたいものの、透析を2～3日行わない訳にもいかないため、原則として**当院では警戒宣言が発令されても治療を続行していきます。**ただし、判定会で2～3日ではなく、もう少し正確な予知が出来た場合は透析治療を中止する可能性もあります。

- ・地震によりこの地域の透析施設で治療が不可能となった場合、数日は透析が出来なくなる可能性がありますので、**発令後はいつも以上に飲水やカリウムの摂取をひかえて下さい。**
- ・**警戒宣言発令後は基本的に送迎バスは運行中止となります**ので、その際は家族の方または、タクシーなど公共の交通機関を利用させていただく事となります。

③地震発生時

(1) 透析中の場合

- ・毛布を頭からかぶり（特に窓ぎわの方は体全体を）窓ガラスや蛍光灯から体を守って下さい。
- ・ベッドから落ちないように、**ベッド柵にしっかりつかまり**ベッドの中央で**揺れが治まるまで静かに待って下さい。**

(2) 透析中でない場合

- ・待合室やロッカーにいる時は、服など何でも良いので頭を保護し蛍光灯の下は避け、物が倒れてこないような所でしゃがんで下さい。



④地震発生後

(1) 透析中の場合

- ・ 透析続行可能時 …透析続行
(帰宅希望者は治療中止可能)
- ・ 透析続行不可能時…スタッフが回収する。

*ガラスが割れて散乱しているところがあると思われるので、避難する際はスリッパ、又は靴を履いて下さい。

(2) 透析中ではない場合

電話番号 **171** にて確認(詳しくは6、7ページ参照)



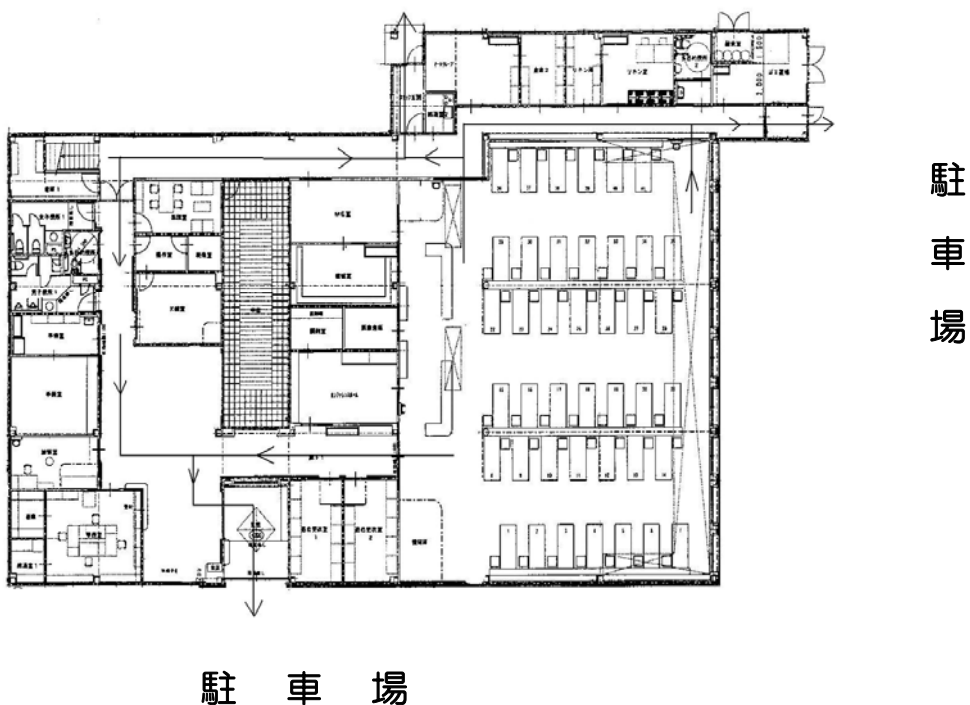
《3》 避難方法

① 離脱方法

スタッフが全て行います。離脱後スタッフの指示に従い、避難して下さい。

② 避難経路

(半田東クリニック1階)



③ 避難場所 駐車場

《4》 当院で透析が出来なくなった時の対応

①当院の透析復旧及び、他院の透析患者受け入れの情報提供

地震など災害時は安否の確認や問い合わせなどの電話が爆発的に増加し、電話がつながりにくい状況（電話ふくそう）が1日～数日間続きます。このような場合、当院では**災害用伝言ダイヤル**を使用して患者様に**透析に関する情報をお知らせします**。つまり、患者様が下記の電話番号へかけて頂ければ災害時のつながりにくい状況であっても、病院側が録音した透析が可能か否か等の情報を聞く事が出来ます。

又、**当院で透析が不可能な場合は基本的に患者様自身で透析を受ける施設を探していただく事となります**。そのため当院の透析復旧のめどや、当院以外の透析が受け入れ可能な施設の情報提供に関しても、新しい情報が入り次第に随時伝言を入れていきますので、受け入れ可能な透析施設が見つからない場合は定期的に伝言を聞いて下さい。

伝言ダイヤル 171⇒2⇒0569-20-1555

～流れる放送～

171⇒ こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。

録音される方は1（いち）、再生される方は2（に）、暗証番号を利用する録音は3（さん）暗証番号を利用する再生は4（よん）をダイヤルして下さい。

2 ⇒ 被災地の方はご自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。

～6～

被災地以外の方は連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。

0569 - 20 - 1555

⇒ 電話番号0569 - 20 - 1555の伝言をお伝えします。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の1（いち）のあと#（シャープ）を押して下さい。

ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直し下さい。

②透析カードについて

このカード（名刺サイズ）は主に災害時、急に他の施設で透析をする事となった際に、**その施設へ提示し、患者情報を知らせる為のカード**ですので常に携帯して下さい。住所、氏名、年齢、電話番号、DW（基礎体重）、禁忌薬剤などが記載されています。

透析カードの書き替えは1年に1度こちらで書き換え、再交付していきます。

《5》 終わりに

地震で最も怖いのは地震が発生した時の揺れよりも、むしろ2次災害（主に地震後の火災）です。現在当院ではお湯を出すためのボイラーも地震感知機がついている為、火災に対しては細心の注意をはらっていますが、万が一、火災が起きた時は必要に応じて透析を中断し、離脱して頂く事があります。その場合混乱を避ける為に、患者様にはなるべく私語を慎み、落ち着いて、スタッフの指示に従い避難して頂きますよう、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

- このマニュアルは必ず自宅の分かる場所に保管し、地震の際にすぐに取り出せるようにしておいてください。



改定日 : 平成 21 年 8 月 28 日

～ 8 ～